

主なニュース

- ②面 参院選 民主が退潮、「みんな」が躍進
- ③④⑤面 座談会「新宿駅東口と歌舞伎町」
- ⑥⑦面 神楽坂まつり（7月21～24日）
- ⑧面 石原都知事「知事報酬は高くない」
- ⑨面 地域と連携する新宿の専修各種学校

ホームページ <http://www.shinjuku-shinbun.co.jp>

週刊

新宿区新聞

THE SHINJUKU-KU SHINBUN

7月15日 社章
2010年（木曜日）
（第1802号）

発行所
株式会社新宿区新聞社
編集・発行人 喜田 勇
新宿区西新宿7-1-25
ワコーレ新宿第2ビル



購読料6ヵ月4,000円、毎月5の日発行、創刊55周年 ☎3369-6195 F A X 3369-0759 (昭和32年12月4日第3種郵便物認可)

西新宿の再開発地帯



西新宿と西富久地区の再開発

オフィス街をとりまくマンション需要の上昇を機に、60階マンションを核とする西新宿5丁目中央北地区再開発が、2年間の休止から再び動き出した。近接地の西新宿8丁目成子地区、北新宿の両再開発でも、超高層住宅棟の建設が進む。一方、中央北地区の再開発より3ヵ月遅く都市計画決定したのが西富久地区再開発。こちらは事業の停滞もなく、昨年11月に本組合が発足した。この両再開発が計画のさらなる見直しを進めている。中央北は階高を60階から1層分削り、西富久は54階から55階に増やす。対照的な見直しだが、いずれも住宅棟の価値を如何に高められるか、模索が続いている。

超高層住宅に次々着手

中心街は「マンション不況」から脱出

西新宿60階

2年の休

西富久54階

来年夏

西新宿5丁目中央北地区再開発準備組合は、6月28日に、特定業務代行の三菱地所、藤和不動産、フジタを核とする3社が、80名が全員同意し、2年間の休止から再び動き出した。この再開発事業の再開を決めた。現行の計画では、超高層住宅棟の建設が進む。一方、中央北地区の再開発より3ヵ月遅く都市計画決定したのが西富久地区再開発。こちらは事業の停滞もなく、昨年11月に本組合が発足した。この両再開発が計画のさらなる見直しを進めている。中央北は階高を60階から1層分削り、西富久は54階から55階に増やす。対照的な見直しだが、いずれも住宅棟の価値を如何に高められるか、模索が続いている。

新宿区内の主な再開発地帯



みらて、加えて、地所は住、譲事業を、し、子、藤和、統一、を、事業への、入れも、を動かす、いえる。